

東谷健康づくりコーナー

「絵手紙部、存続の危機?!」

来年は巳年。今年も年賀状を準備する時期となりました。東谷の七十五才以上の方へ年賀状を届け始めて、十八回目のお正月を迎えます。一年に一度の年賀状を楽しみに待っていてくださる方がおられると思うと「明るいお正月を迎えて欲しい」と、筆を持つ手にも力が入ります。

しかし今年は、そんな絵手紙部に最大の危機が訪れました。皆さんご存知の通り、郵便料金の大幅値上げです。一回に九百五十枚余りの年賀状を出す絵手紙部にとっては、ハガキ一枚につき二十二円の値上げはこれからの活動に大きな不安と存続の危機さえ覚える大きな痛手です。

そんな中、幸いにも昨年「切手代に困窮しています」という内情を市民センター便りに載せて頂いたところ、多くの方々から沢山の未使用の切手やハガキをご寄付頂き、社協や部会の活動費と合わせて、今回も何とか年賀状をお届け出来る目途が立ちました。

この度の郵便料金の値上げで、これから先の活動をいつまで続けられるかわかりませんが、少しでも長く皆さんを「笑顔にする絵手紙」がお届け出来るよう、工夫を凝らしながら頑張っていきたいと考えております。その為にも引き続き、書き損じのハガキや未使用の切手等がありましたら、市民センターにお届けくださいますよう、ご協力を宜しくお願い致します。

年の瀬が近づいて来ました。どうぞお健やかに新年をお迎えください。



健康づくり部会
絵手紙部
渡邊 博子

東谷郷土資料館だより 8

(真田紐の携帯ストラップ作りワークショップ)

東谷郷土資料館 館長 西田 順一

東谷郷土資料館は、11月16日(土)に行われた東谷フェスティバルの中の文化祭で手織りの真田紐づくりのワークショップを出展しました。豊前企救郡一帯では、かつて(明治時代)小倉織と言われる独特の綿織物が作られていました。東谷でも機織機で織られ農家さんの副業として作られていました。当時のハギレ見本が郷土資料館で発見され、幻と呼ばれた小倉織の解明に役立ちました。資料館では手織りの織物を復活させたいと考え、婦人部さんのご協力を得て機織物を復活させたいと考え、手始めに入門用の簡易機織機で真田紐の携帯ストラップを作るワークショップを開催し、今までに延べ人数で60名ほどの方に体験をしていただきました。

今回の文化祭でもワークショップを出展し、6名と人数は少なかったですが、参加いただき、携帯ストラップを自分で織っていただき、喜んでいただきました。今後とも息長く手織りの機織の活動を続け東谷に普及を図っていきたく考えています。

個別講座も開催するのでご興味関心のある方は090-8604-4544西田までショートメール、もしくは電話でお問い合わせください。



当日の会場です。



当日の作品の一部です

東谷フェスティバル

第11回 東谷フェスティバル
第60回 東谷地区文化祭



皆様、ご協力ありがとうございました



幼稚園・保育園の園児さんもステージで発表。かわいい演技で観客を和ませてくれました。



着付けの展示や居合道の型の披露もありました



秋はなび

東谷中学校21期『72歳同窓会』



10月26日(土)、東谷中学校21期、市丸・新道寺小学校昭和40年卒業「72歳同窓会」を開催いたしました。同窓会には36名の同窓生と東谷中学校時代の「仲村(井上)恵美子先生」がご出席してくださいました。

久しぶりにお会いした先生や同窓生と昔の思い出や近況などを語り合い、本当に楽しい同窓会を開催できました。

市丸町内 山下 郁史

「写真でみるひがしたに歳時記」



11/20
「勤労感謝の日」
竜光保育園の園児さん来館



11/25 地域別人権研修会



11/22 「勤労感謝の日」
石原幼稚園の園児さん来館



11月28日(木)
東谷興農会で「煙火講習会」
が行なわれました

古紙回収にご協力ください

古紙回収は、資源のリサイクルを目的としています。もう一つ、それによって東谷地区まちづくり協議会や町内の活動を支える大切な資金源にもなっています。

古紙は、町内管理のボックス、または東谷市民センターの古紙回収保管庫へお持ちください。

分けてね



年末は 12月28日(土)16:30迄
年始は 1月 4日(土)9:00~回収